

平成 26 年度
国内旅行業務取扱管理者試験問題

次の注意事項に従って解答してください。(全29ページ)

なお、本試験問題は、平成26年 6 月 1 日現在を基準としています。

〔注意事項〕

1. 答は、別の解答用紙（マークシート）に記入してください。
2. マークは濃度HBまたはBの鉛筆（シャープペンシルを含む。）を使用し、濃くきれいに塗りつぶしてください。
なお、訂正は消しゴムで、きれいに消し、消しくずを残さないでください。
3. 印刷が不鮮明なものや頁の欠落がありましたら取り替えますので、着席したまま手を挙げてください。
4. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。
5. 解答用紙（マークシート）は、白紙であっても必ず提出してください。
6. 解答用紙（マークシート）の記入に当たっては、次の例に従ってください。指示に従わない場合は、採点されません。

(1) 試験地、受験番号及び氏名欄の記入例

〔記入例〕 試験地 北海道 受験番号 00999番 全旅 太郎の場合

試験地		受験番号	フリガナ	ゼンリョ	タロウ
北海道	宮城県	埼玉県	東京都	愛知県	
大阪府	広島県	福岡県	沖縄県		

0	0	9	9	9
---	---	---	---	---

氏名	全旅 太郎
----	-------

(注意事項)

1. 「試験地」欄は該当箇所をマークしてください。「受験番号」欄は数字で記入してください。(記入見本参照)
2. マークは濃度HBまたはBの鉛筆（シャープペンシルを含む。）を使用し、濃くきれいに塗りつぶしてください。
3. この解答用紙を汚したり折り曲げたりしないでください。
4. 白紙であっても必ず提出してください。持ち帰ることはできません。

(2) 解答欄

次の例にならって、マークで解答してください。

良い例	悪い例				
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				

指示があるまで開いてはいけません。
問題の内容に関する質問にはお答えできません。

【配 点】

1 旅行業法及びこれに基づく命令

各 4 点×25問

2 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款

各 4 点×25問

3 国内旅行実務

各 2 点×24問（1.～3.）

各 4 点×13問（4.～8.）

1 旅行業法及びこれに基づく命令

以下の各設問について、該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。

(1) 次の記述から、法第1条「目的」に定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行者に対する接遇の向上
- b. 旅行者の利便の増進
- c. 旅行業等を営む者の組織する団体の自由な活動の促進
- d. 旅行業務に関する取引の公正の維持

ア. a, b イ. a, c ウ. b, d エ. c, d

(2) 報酬を得て、次の行為を事業として行う場合、旅行業の登録を受けなければならないものはどれか。

- ア. 旅行業者から手配業務を受託するランドオペレーターが旅行業者から依頼を受け、当該旅行業者のために運送等サービスの手配を行う行為
- イ. 観光案内所が旅行者から依頼を受け、当該旅行者のために他人の経営する宿泊施設の手配をし、当該宿泊施設から宿泊代金の割戻しを受ける行為
- ウ. 観光タクシー会社が、自ら所有する観光タクシーを使い、他人が経営するテーマパークに半日入場することを目的とする日帰り旅行を旅行者に販売する行為
- エ. 宿泊業者が航空会社を代理して、その航空券のみを旅行者に販売する行為

(3) 旅行業等の登録に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 本邦外の企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものを除く。）を実施する第2種旅行業の新規登録の申請をしようとする者は、観光庁長官に新規登録申請書を提出しなければならない。
- イ. 旅行業者代理業の新規登録の申請をしようとする者は、所属旅行業者の主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に新規登録申請書を提出しなければならない。
- ウ. 第3種旅行業者が登録の有効期間の満了の日までに更新登録の申請を行った場合で、登録行政庁から更新登録又は登録拒否の通知があるまでの間は、従前の登録は有効期間の満了後も、なおその効力を有する。
- エ. 第1種旅行業の有効期間の更新の登録がなされたときは、その登録の有効期間は、従前の登録の有効期間の満了の日から起算するものとする。

(4) 登録業務範囲に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 第1種旅行業者は、本邦外の企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。本問において以下同じ。）を実施することはできるが、本邦内の企画旅行を実施することはできない。
- イ. 第2種旅行業者は、訪日外国人旅行者を対象とした本邦内の企画旅行を実施することができる。
- ウ. 第3種旅行業者は、受託契約に基づく本邦外の企画旅行契約に付随して、旅券の受給のための行政庁等に対する手続の代行サービスを提供することはできない。
- エ. 地域限定旅行業者は、本邦外の旅行に関する相談に応ずることはできない。

(5) 次の記述のうち、登録の拒否事由に該当するものはどれか。

- ア. 申請の8年前に旅行業務に関し不正な行為をした者
- イ. 旅行業者代理業を営もうとする者であって、その代理する旅行業を営む者が2以上であるもの
- ウ. 法人であって、その役員が禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過した者
- エ. 第3種旅行業を営もうとする者であって、その基準資産額が300万円であるもの

(6) 旅行業務取扱管理者の選任に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 旅行業者等は、総合旅行業務取扱管理者試験に合格した者に限り、複数の営業所の旅行業務取扱管理者として選任することができる。
- イ. 旅行業者等は、営業所で旅行業務を取り扱う者が1人である場合には、当該営業所については旅行業務取扱管理者を選任しなくてもよい。
- ウ. 旅行業者等は、その営業所の旅行業務取扱管理者として選任した者のすべてが欠けるに至ったときは、新たに旅行業務取扱管理者を選任するまでの間は、その営業所では手配旅行契約以外の旅行業務に関し旅行者と契約を締結することができない。
- エ. 旅行業者等は、営業所において本邦内の旅行のみを取り扱う場合にあっては、国内旅行業務取扱管理者試験に合格した者を旅行業務取扱管理者として選任すればよい。

(7) 次の記述から、旅行業務取扱管理者の職務として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 法第12条の4の規定による取引条件の説明に関する事項
- b. 法第12条の9の規定による標識の掲示に関する事項
- c. 旅行に関する苦情の処理に関する事項
- d. 旅行に関する計画の作成に関する事項

- ア. a, d
- イ. b, c
- ウ. a, c, d
- エ. a, b, c, d

(8) 営業保証金制度に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 旅行業者は、営業保証金の供託をしたときは、供託物受入れの記載のある供託書の写しを添付して、その旨を登録行政庁に届け出なければならず、その届出をした後でなければ、その事業を開始してはならない。
- イ. 旅行業者は、毎事業年度終了後において、その供託している営業保証金の額が所定の額に不足する場合であっても、その不足額を追加して供託する必要はない。
- ウ. 国債証券、地方債証券は、営業保証金に充てることができない。
- エ. 営業保証金の供託所は、旅行業者が自由に選択することができる。

(9) 旅行業務の取扱いの料金に関する施行規則第21条の規定について、の中に入る語句の組合せで正しいものはどれか。

(揭示料金の制定基準) 施行規則第21条

法第12条第2項の国土交通省令で定める基準は、旅行業務の取扱いの料金が ① の種類及び内容に応じて ②、 ③ その他の方法により定められ、旅行者にとって明確であることとする。

- ア. ①旅行 —— ②実費 —— ③件数
- イ. ①契約 —— ②実費 —— ③件数
- ウ. ①旅行 —— ②定率 —— ③定額
- エ. ①契約 —— ②定率 —— ③定額

(10) 取引条件の説明に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業者等は、旅行者に対し、取引条件の説明をするときに交付する書面に代えて、当該書面に記載すべき事項を情報通信の技術を利用する方法で提供するときは、当該旅行者の承諾を得なければならない。
- b. 旅行業者代理業者は、旅行者と企画旅行契約を締結しようとするときは、その取引の条件について説明することを要しない。
- c. 旅行業者等は、対価と引換えに当該旅行に関するサービスの提供を受ける権利を表示した書面を交付する場合にあっては、旅行者に対し取引条件の説明をするときに、国土交通省令・内閣府令で定める事項を記載した書面を交付することを要しない。
- d. 旅行業者等は、旅行者に対し、国土交通省令・内閣府令で定める事項を記載した書面の交付をすれば、取引条件の説明を要しない。

- ア. a, c イ. b, d ウ. a, b, c エ. a, b, d

(11) 次の記述のうち、企画旅行契約を締結したときに交付する書面の記載事項として定められていないものはどれか。

- ア. 企画旅行を実施する旅行業者の氏名又は名称及び住所並びに登録番号
- イ. 契約の変更及び解除に関する事項
- ウ. 契約の申込方法及び契約の成立に関する事項
- エ. 旅程管理業務を行う者が同行しない場合にあっては、旅行地における企画者との連絡方法

(12) 外務員に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 外務員は、その業務を行うときに旅行者から請求があったときに限り、外務員の証明書を提示しなければならない。
- イ. 外務員の証明書は、国土交通省令で定める様式により、外務員の所属する旅行業者等が発行する。
- ウ. 外務員は、いかなる場合においても、その所属する旅行業者等に代わって、旅行者との旅行業務に関する取引についての一切の裁判外の行為を行う権限を有するものとみなされる。
- エ. 旅行業者等は、その役員に限り、国土交通省令で定める様式による証明書を携帯させることなく、その者を外務員としての業務に従事させることができる。

(13) 企画旅行に参加する旅行者を募集するための広告に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者等は、旅行者が旅行業者等に支払うべき対価が当該企画旅行の出発日より異なる場合において、その最低額を表示するときは、併せてその最高額を表示しなければならない。
- イ. 旅行業者等は、旅行者に対する損害の補償に関する事項を表示しなければならない。
- ウ. 旅行業者等は、企画旅行の参加者数があらかじめ企画旅行を実施する旅行業者が定める人員数を下回った場合に、当該企画旅行を実施しないこととするときは、その旨及び当該人員数を表示しなければならない。
- エ. 旅行業者等は、旅程管理業務を行う者の同行の有無を表示しなければならない。

(14) 次の記述から、誇大広告をしてはならない事項として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行に関するサービスの品質その他の内容に関する事項
- b. 旅行業者等の業務の範囲、資力又は信用に関する事項
- c. 旅行者が旅行業者等に支払うべき対価に関する事項

- ア. a, b イ. a, c ウ. b, c エ. a, b, c

(15) 旅行業約款に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 旅行者等が営業所に掲示し、又は備え置く旅行業約款は、旅行者代理業者にあつては、所属旅行者の旅行業約款である。
- イ. 旅行中の損害の補償に関する事項は、旅行業約款の記載事項として定められていない。
- ウ. 旅行業務取扱管理者の氏名は、旅行業約款の記載事項として定められている。
- エ. 旅行業協会の保証社員である旅行者は、旅行業約款に記載されている弁済業務保証金からの弁済限度額を変更しようとする場合は、旅行業協会に対し当該約款の変更の届出を行う必要がある。

(16) 禁止行為等に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行者等は、旅行者から收受する旅行業務の取扱いの料金については、旅行者から事前に承諾を得たとしても営業所において掲示した料金を超えて料金を收受してはならない。
- イ. 旅行者等は、旅行業務に関し取引をする者に対し、その取引に関する重要な事項について、故意に事実を告げず、又は不実のことを告げてはならない。
- ウ. 旅行者等は、専ら企画旅行の実施のために提供される運送サービスについて、当該運送サービスを提供する者に対し、輸送の安全の確保を不当に阻害する行為をしてはならない。
- エ. 旅行者等は、営業の貸渡しの方法であれば、他人にその名において旅行業又は旅行者代理業を営ませることができる。

(17) 受託契約に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 地域限定旅行者は、第2種旅行者を委託旅行者とする受託契約を締結することができない。
- イ. 旅行者は、複数の他の旅行者と受託契約を締結することができる。
- ウ. 旅行者代理業者は、所属旅行者の事前の承諾により、自ら直接、他の旅行者と受託契約を締結することができる。
- エ. 受託契約においては、委託旅行者を代理して企画旅行契約を締結することができる受託旅行者の営業所を定めておく必要はない。

- (18) 旅行業者代理業者に関する次の記述から、誤っているもののみをすべて選んでいるものはどれか。
- a. 旅行業者代理業者は、旅行業務に関し取引をしようとするときは、所属旅行業者の氏名又は名称に関しては、取引の相手方に明示する必要はない。
 - b. 旅行業者代理業者は、所属旅行業者の承認がある場合であっても、所属旅行業者による受託契約に基づき企画旅行契約を締結する場合を除き、所属旅行業者以外の旅行業者のために旅行業務を取り扱うことはできない。
 - c. 旅行業者代理業者の登録は、当該旅行業者代理業者が所属旅行業者のために旅行業務を取り扱うことを内容とする契約が効力を失ったときに失効する。
 - d. 旅行業者代理業者が事業の廃止をするとき、事業廃止届を登録行政庁に提出するのは所属旅行業者のみである。

ア. a, d イ. b, c ウ. a, b, d エ. a, c, d

- (19) 業務改善命令に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 登録行政庁は、法で定める一定の事実があると認めるときは、旅行業者等に対し、旅行業務取扱管理者を解任することを命ずることができる。
- イ. 登録行政庁は、法で定める一定の事実があると認めるときは、旅行業者に対し、旅行業約款を変更することを命ずることができる。
- ウ. 登録行政庁は、法で定める一定の事実があると認めるときは、旅行業者に対し、企画旅行に係る旅程管理のための措置を確実に実施することを命ずることができる。
- エ. 登録行政庁が旅行業者等の業務の運営に関し、必要な措置をとるべきことを命ずることができるのは、取引の公正又は旅行業者等が組織する団体の適正な活動の促進を害する事実があると認められるときに限られる。

- (20) 登録の取消し等に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 登録行政庁は、法で定める一定の事由に該当するときには、旅行業者等に対して1年以内の期間を定めて業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。
- イ. 旅行業者等が登録行政庁からの業務改善命令に違反したとしても、登録行政庁が当該旅行業者等の登録を取り消すことができる事由とはならない。
- ウ. 登録行政庁は、旅行業者等が登録当時、営業所ごとに旅行業務取扱管理者を確実に選任すると認められない者であることが判明したときは、登録を取り消すことができる。
- エ. 登録行政庁は、旅行業者が登録申請時に営業保証金を供託していなかったことが判明したときは、登録を取り消すことができる。

(21) 標識に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 標識の地の色は、旅行業者のものにあつては青、旅行業者代理業者のものにあつては白に限られている。
- イ. 旅行業者代理業者は、標識に登録番号、氏名又は名称及び登録年月日並びに有効期間を記載する。
- ウ. 旅行業者等は、当該旅行業者等が法人である場合にあつては、標識にその代表者の氏名を記載する。
- エ. 旅行業者は、標識の受託取扱企画旅行の欄に取り扱っている企画旅行の企画者が明確となるよう記載する。

(22) 企画旅行の円滑な実施のための措置に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、旅行者に対し、旅行に関する計画における2人以上の旅行者が同一の日程により行動することを要する区間における円滑な旅行の実施を確保するために必要な集合時刻、集合場所その他の事項に関する指示をしなければならない。
- イ. 旅行業者は、旅行に関する計画に定めるサービスの旅行者への確実な提供を確保するために旅行開始前に必要な予約その他の措置を講じなければならない。
- ウ. 旅行業者は、本邦内の旅行にあつては、旅行地において旅行に関する計画に定めるサービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置を必ず講じなければならない。
- エ. 旅行業者は、本邦外の旅行にあつては、旅行に関する計画に定めるサービスの内容の変更を必要とする事由が生じた場合は、代替サービスの手配及び当該サービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置を講じなければならない。

(23) 旅程管理業務を行う者のうち主任の者に関する次の記述から、誤っているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 企画旅行に参加する旅行者に同行して旅程管理業務を行う者は、すべての者が旅程管理業務を行う主任の者として法第12条の11第1項の規定に適合する者でなければならない。
- b. 旅行業者は、登録研修機関が実施する旅程管理研修の課程を修了し、かつ、実務の経験として当該研修修了後1年以内に1回以上の実務経験を有している者に限り、旅程管理業務を行う者のうち主任の者として選任することができる。
- c. 法第12条の11第1項の規定に適合する者の指導による旅程管理業務に相当する実務の研修を受けた経験は、当該研修を受けた地域を目的地とする旅行に係る旅程管理業務に従事した経験とみなされる。

ア. a, b イ. a, c ウ. b, c エ. a, b, c

(24) 次の記述から、旅行業協会が適正かつ確実に実施しなければならない業務として定められているもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行者及び旅行に関するサービスを提供する者からの旅行者等の取り扱った旅行業務に対する苦情の解決
- b. 旅行業務に関する取引の公正の確保又は旅行業及び旅行者代理業の健全な発達を図るための調査、研究及び広報
- c. 運送及び宿泊のサービスを提供する者に対する研修
- d. 社員である旅行者に対し、旅行業務に関する取扱い拡大のための経営指導

ア. a, b イ. a, c ウ. b, d エ. c, d

(25) 弁済業務保証金に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業協会が供託している弁済業務保証金から弁済を受ける権利を有する者は、保証社員又は当該保証社員を所属旅行者とする旅行者代理業者と旅行業務に関し取引をした旅行者である。
- イ. 弁済業務保証金の還付があったときは、当該還付に係る保証社員又は保証社員であった者は、旅行業協会から当該還付額に相当する額の還付充当金を納付すべき通知を受けた日から7日以内にその通知された額の還付充当金を旅行業協会に納付しなければならない。
- ウ. 旅行業協会に加入した旅行者は、加入の日から14日以内に所定の弁済業務保証金分担金を旅行業協会に納付しなければならない。
- エ. 保証社員と旅行業務に関し取引をした旅行者が、その取引によって生じた債権に関して旅行業協会が供託している弁済業務保証金から弁済を受けようとする場合は、その債権について旅行業協会の認証を受けなければならない。

2 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款

1. 標準旅行業約款に関する以下の各設問について、該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。

(1) 募集型企画旅行契約の部「適用範囲」「用語の定義」「旅行契約の内容」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業者が旅行者との間で締結する契約において、約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習による。
- b. 「電子承諾通知」とは、契約の申込みに対する承諾の通知であって、情報通信の技術を利用する方法のうち旅行業者又は旅行業者の募集型企画旅行を旅行業者を代理して販売する会社が使用する電子計算機、ファクシミリ装置、テレックス又は電話機（本問において、以下「電子計算機等」という。）と旅行者が使用する電子計算機等とを接続する電気通信回線を通じて送信する方法により行うものをいう。
- c. 旅行業者は、契約において、旅行者が当該旅行業者の定める旅行日程に従って、運送・宿泊機関等の提供する運送、宿泊その他のサービスの提供を受けることができるように、手配し、旅程を管理することを引き受ける。

ア. a, b イ. a, c ウ. b, c エ. a, b, c

(2) 募集型企画旅行契約の部「契約の申込み」「契約締結の拒否」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 契約の申込みをしようとする旅行者は、旅行業者所定の申込書に所定の事項を記入の上、当該旅行業者が別に定める金額の申込金とともに、当該旅行業者に提出しなければならない。
- イ. 旅行者が、契約の申込みの際に支払った申込金は、旅行代金又は取消料の一部として取り扱われ、他に充当されることはない。
- ウ. 旅行者が他の旅行者に迷惑を及ぼすおそれがあるときは、旅行業者は契約の締結に応じないことがある。
- エ. 旅行の参加に際し、特別な配慮を必要とする旨の申し出が旅行者からあったときは、旅行業者は、可能な範囲でこれに応じる。この場合において、旅行者のために講じた特別な措置に関する費用は、旅行者の負担とする。

(3) 募集型企画旅行契約の部「契約の成立時期」「契約書面の交付」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 契約は、旅行業者が契約の締結を承諾し、当該旅行業者が定める金額の申込金を受理した時に成立する。
- b. 通信契約は、電子承諾通知を発する場合には、旅行業者が契約の締結の通知を発した時に成立する。
- c. 旅行業者は、契約の成立後速やかに、旅行者に、旅行日程、旅行サービスの内容、旅行代金その他の旅行条件及び旅行業者の責任に関する事項を記載した書面を交付する。
- d. 旅行業者が契約により手配し旅程を管理する義務を負う旅行サービスの範囲は、契約書面に記載するところによる。

ア. a, d イ. b, c ウ. a, c, d エ. a, b, c, d

(4) 募集型企画旅行契約の部「確定書面」「情報通信の技術を利用する方法」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業者は、契約書面において、確定された旅行日程、運送若しくは宿泊機関の名称を記載できない場合には、当該契約書面において利用予定の宿泊機関及び表示上重要な運送機関の名称を限定して列挙した上で、当該契約書面交付後、旅行開始日の前日（旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降に契約の申込みがなされた場合にあっては、旅行開始日）までの当該契約書面に定める日までに、これらの確定状況を記載した書面を交付する。
- b. 旅行業者は、あらかじめ旅行者の承諾を得て、確定書面の交付に代えて、情報通信技術を利用する方法により当該書面に記載すべき事項（本問において、以下「記載事項」という。）を提供したときは、当該旅行者の使用する通信機器に備えられたファイルに記載事項が記録されたことを確認する。
- c. 旅行業者は、確定書面の交付に代えて、情報通信の技術を利用する方法により記載事項を提供した場合に、旅行者の使用に係る通信機器に記載事項を記録するためのファイルが備えられていないときは、旅行業者の使用する通信機器に備えられたファイル（専ら当該旅行者の用に供するものに限る。）に記載事項を記録し、旅行者が記載事項を閲覧したことを確認する。

ア. a, b イ. a, c ウ. b, c エ. a, b, c

(5) 募集型企画旅行契約の部「旅行代金」「旅行代金の額の変更」「旅行者の交替」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、通信契約を締結したときは、カード利用日は旅行契約成立日とする。
- イ. 旅行業者は、通信契約を締結したときは、提携するクレジットカード会社のカードにより所定の伝票への旅行者の署名なくして契約書面に記載する金額の旅行代金の支払いを受ける。
- ウ. 旅行業者と契約を締結した旅行者が、契約上の地位を第三者に譲り渡すことができるのは、旅行業者の承諾を得た場合であっても、当該旅行者の三親等以内の親族に限られる。
- エ. 旅行業者は、旅行を実施するに当たり利用する運送機関について適用を受ける運賃・料金が、著しい経済情勢の変化等により、旅行の募集の際に明示した時点において有効なものとして公示されている適用運賃・料金に比べて、通常想定される程度を大幅に超えて増額される場合においては、その増額される金額の範囲内で旅行代金の額を増加することができる。

(6) 募集型企画旅行契約の部「旅行者の解除権」に関する次の記述のうち、旅行者が旅行開始前に契約を解除するに当たって取消料の支払いが必要となるものはどれか（いずれも取消料の支払いを要する期間内の解除とする。）。

- ア. 契約書面に「A レストランでフランス料理の昼食」と記載されていたが、旅行者によって「B レストランでフランス料理の昼食」に変更されたとき。
- イ. 旅行者が必要な介助者の急病によって旅行に参加できなくなり、やむを得ず契約を解除するとき。
- ウ. 旅行者が旅行者に対し、契約書面に記載した期日までに、確定書面を交付しなかったとき。
- エ. 契約書面に「A 航空会社を利用」と記載されていたが、A 航空会社のパイロット不足により運航中止となり、「B 航空会社」に変更されたとき。

(7) 募集型企画旅行契約の部「旅行業者の解除権等－旅行開始前の解除」に関する次の記述のうち、旅行業者が旅行開始前に契約を解除できないものはどれか（いずれの場合も解除に係る旅行者への理由説明は行うものとする。）。

- ア. 旅行者が、旅行業者があらかじめ明示した参加旅行者の条件を満たしていないことが判明したとき。
- イ. 2泊3日の国内旅行において、旅行者の数が契約書面に記載した最少催行人員に達しなかったため、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日に、旅行を中止する旨を旅行者に通知したとき。
- ウ. 通信契約を締結した場合であって、旅行者の有するクレジットカードが無効になり、旅行者が旅行代金等に係る債務の一部又は全部を旅行業者が提携するクレジットカード会社のカード会員規約に従って決済できなくなったとき。
- エ. 花見を目的とする日帰りの国内旅行において、異常気象により開花が遅れ、花見そのものがないおそれが極めて大きいことから、当該旅行を中止する旨を旅行開始日の前日から起算してさかのぼって3日目に当たる日に旅行者に通知したとき。

(8) 募集型企画旅行契約の部「旅行業者の解除権－旅行開始後の解除」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、官公署の命令など当該旅行業者の関与し得ない事由が生じた場合であって、旅行の継続が不可能となったときは、旅行開始後であっても、旅行者に理由を説明して、契約の一部を解除することができる。
- イ. 旅行業者が旅行開始後に契約を解除したときは、旅行業者と旅行者との間の契約関係は、将来に向かってのみ消滅する。
- ウ. 旅行業者が旅行開始後に契約を解除したときは、旅行者が既に提供を受けた旅行サービスに関する旅行業者の債務については、有効な弁済がなされたものとされる。
- エ. 旅行開始後、旅行者が旅行を安全かつ円滑に実施するための添乗員の指示に従わず、団体旅行の規律を乱し、当該旅行の安全かつ円滑な実施を妨げるため、旅行業者が契約を解除したとき、旅行業者は、旅行者に対し払い戻すべき金額が生じても払い戻すことを要しない。

(9) 募集型企画旅行契約の部「旅行代金の払戻し」「契約解除後の帰路手配」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか（選択肢ア. ウ. は、通信契約でないものとする。）。

- ア. 旅行を実施するに当たり利用する運送機関について適用を受ける運賃・料金が減額され、それに伴い旅行代金が減額された場合において、旅行者に払い戻すべき金額が生じたときは、旅行業者は、契約書面に記載した旅行終了日の翌日から起算して30日以内に旅行者に対し当該金額を払い戻す。
- イ. 旅行業者は、旅行者と通信契約を締結した場合であって、旅行代金が増額されたことにより当該通信契約が解除された場合において、旅行者に対し払い戻すべき金額が生じたときは、旅行業者が提携するクレジットカード会社のカード会員規約に従って、当該旅行者に当該金額を払い戻す。
- ウ. 旅行開始前に、契約内容の変更により旅行代金を減額したとき、旅行業者は、旅行者に対し契約内容の変更が発生した日の翌日から起算して30日以内に当該金額を払い戻さなければならない。
- エ. 旅行者が病気により旅行の継続に耐えられないという事由で、旅行開始後に旅行業者が契約を解除したときは、旅行業者は、旅行者の求めに応じ、旅行者が当該旅行の出発地に戻るために必要な旅行サービスの手配を引き受ける。

(10) 募集型企画旅行契約の部「旅程管理」「添乗員等の業務」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか（a. b. は、旅行業者が旅行者と特約を結んだ場合を除くものとする。）。

- a. 旅行業者は、契約の内容を変更せざるを得ないときであって、代替サービスの手配を行う場合は、変更後の旅行サービスの内容が当初の旅行サービスの内容と同様のものとなるよう努める。
- b. 旅行業者は、旅行者が旅行中旅行サービスを受けることができないおそれがあると認められるときは、契約に従った旅行サービスの提供を確実に受けられるために必要な措置を講ずる。
- c. 旅行業者は、旅行に添乗員を同行させて、旅程管理業務その他旅行に付随して旅行業者が必要と認める業務を行わせなければならない。

ア. a, b イ. a, c ウ. b, c エ. a, b, c

(11) 募集型企画旅行契約の部「旅行業者の責任」に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、契約の履行に当たって、手配代行者が過失により旅行者に損害を与えたときは、その損害を賠償する。
- イ. 旅行業者は、契約の履行に当たって、旅行業者の過失により旅行者の身体に損害を与えたときは、損害発生の日から起算して2年以内に当該旅行者より通知があったときに限り、その損害を賠償する。
- ウ. 国内旅行において、旅行業者の過失により旅行者の手荷物に損害を与えたときは、損害発生の日から起算して14日以内に当該旅行者より当該旅行業者に対して通知があったときに限り、旅行業者は、その損害を賠償する。
- エ. 旅行業者は、契約の履行に当たって、旅行業者の故意又は重大な過失により旅行者の手荷物に損害を与えたときは、手荷物1個につき15万円を限度として、その損害を賠償する。

(12) 受注型企画旅行契約の部に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業者は、契約責任者との間で、団体・グループ契約を締結する場合において、申込金の支払いを受けることなく契約の締結を承諾することがある。
- b. 旅行者に確定書面を交付した場合には、旅行業者が契約により手配し旅程を管理する義務を負う旅行サービスの範囲は、当該確定書面に記載するところに特定される。
- c. 旅行業者は、企画書面において、旅行代金の内訳として企画料金の金額を明示した場合は、契約書面において当該企画料金の金額を明示しない。

ア. a, b イ. a, c ウ. b, c エ. a, b, c

(13) 募集型企画旅行契約の部、受注型企画旅行契約の部に関する次の記述のうち、受注型企画旅行契約の部のみに規定されているものはどれか。

- ア. 「国内旅行」とは、本邦内のみの旅行をいい、「海外旅行」とは、国内旅行以外の旅行をいう。
- イ. 旅行者は、旅行業者に対し、旅行日程、旅行サービスの内容その他の契約の内容を変更するよう求めることができる。この場合において、旅行業者は、可能な限り旅行者の求めに応じる。
- ウ. 旅行業者は、契約の履行に当たって、手配の全部又は一部を本邦内又は本邦外の他の旅行業者、手配を業として行う者その他の補助者に代行させることがある。
- エ. 旅行者が、契約内容に関し合理的な範囲を超える負担を求めたときは、旅行業者は、当該旅行者に理由を説明して、旅行開始前に契約を解除することがある。

(14) 募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「旅程保証」に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行業者は、変更補償金を支払った後に、当該変更について旅行業者の責任が発生することが明らかになった場合には、当該変更に係る変更補償金に関係なく損害賠償金も支払う。
- b. 旅行業者は、約款に定める契約内容の重要な変更が生じた場合において、変更補償金を支払うこととなったときは、旅行終了日の翌日から起算して30日以内に当該変更補償金を旅行者に支払う。
- c. 旅行業者は、変更補償金の支払事由が生じた場合は、旅行者からの請求の有無にかかわらず、当該変更補償金を支払う。

ア. a, b イ. a, c ウ. b, c エ. a, b, c

(15) 募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「旅程保証」に関する次の記述のうち、変更補償金の支払いを要するものはどれか（いずれも変更補償金の額は、約款に定める支払いが必要な最低額を上回っているものとする。）。

- ア. 旅行参加者の生命又は身体の安全確保のために必要な措置を講じたため、確定書面に明示した美術館に入場できなかったとき。
- イ. 確定書面に「Aホテルのツイン」と記載していたが、Aホテルの過剰予約受付により「Bホテルのスイート」に変更になったとき。
- ウ. 確定書面に「新幹線ひかり」と記載していたが、旅行開始後、車両故障で運休となったため、後続の「新幹線こだま」に変更になったとき。
- エ. 確定書面の日程に「Aレストランにてフランス料理の夕食」と明示していたが、レストランの都合により、実際には「Aレストランにてイタリア料理の夕食」に変更になったとき。

(16) 募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「特別補償」「特別補償規程」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 旅行業者の過失により旅行者に損害を与えたときは、特別補償規程で定める補償金に加えて、その責任に基づき支払うべき損害賠償金を別途支払う。
- イ. 旅行者があらかじめ定められた企画旅行の行程から離脱する場合において、離脱及び復帰の予定日時をあらかじめ旅行業者に届け出ることなく離脱したとき又は復帰の予定なく離脱したときは、その離脱の時から復帰の時までの間又はその離脱した時から後は「企画旅行参加中」としない。
- ウ. A社の国内を目的地とする受注型企画旅行に参加した旅行者が、その自由行動中に別途の旅行代金を収受してA社が実施する募集型企画旅行に参加し、その参加中に事故で死亡した場合は、A社から当該旅行者の法定相続人に2500万円の死亡補償金が支払われる。
- エ. 旅行業者は、当該旅行業者に責任が生ずるか否かを問わず、旅行者が企画旅行参加中にその生命、身体に被った一定の損害について、当該旅行者の年齢により補償金及び見舞金を支払う。

(17) 募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「特別補償規程」の携帯品損害補償に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、旅行者1名につき、損害額が1回の事故につき3000円を超えない場合は、損害補償金を支払わない。
- イ. 旅行業者は、補償対象品の1個又は一対についての損害額が10万円を超えるときは、そのものの損害の額を10万円とみなして損害補償金を支払う。
- ウ. 旅行業者は、市内観光中に旅行者が紛失したサングラスについては、損害補償金を支払う。
- エ. 旅行業者は、旅行者が新幹線の座席に置き忘れたハンドバッグについては、損害補償金を支払わない。

(18) 手配旅行契約の部に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、旅行者から依頼のあった宿泊機関の手配を善良な管理者の注意をもって行ったが、満員のため当該宿泊機関との間で宿泊サービスの提供をする契約を締結できなかった場合は、当該旅行者に対して所定の旅行業務取扱料金を請求できない。
- イ. 旅行業者は、旅行業者が手配するすべての旅行サービスについて乗車券類、宿泊券その他の旅行サービスの提供を受ける権利を表示した書面を交付するときは、契約書面を交付しないことがある。
- ウ. 旅行業者は、旅行業者が旅行サービスを手配するために、運送・宿泊機関等に対して支払った費用で旅行者の負担に帰すべきもの及び取扱料金の額が、旅行代金として既に収受した金額に満たないときは、旅行終了後、速やかに旅行者にその差額を払い戻す。
- エ. 旅行業者が旅行者の求めにより契約の内容を変更する場合、旅行者は、既に完了した手配を取り消す際に運送・宿泊機関等に支払うべき取消料、違約料その他の手配の変更に要する費用を負担するほか、旅行業者に対し、所定の変更手続料金を支払わなければならない。

(19) 手配旅行契約の部に関する次の記述から、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

- a. 旅行者は、いつでも契約の全部又は一部を解除することができる。
- b. 旅行業者は、旅行者が所定の期日までに旅行代金を支払わないときは、契約を解除できる。
- c. 旅行者は、旅行業者の責に帰すべき事由により旅行サービスの手配が不可能になったときは、契約を解除することができる。

ア. a, b イ. a, c ウ. b, c エ. a, b, c

(20) 旅行相談契約の部に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 旅行業者は、契約の履行に当たって、旅行業者が故意又は過失により旅行者に損害を与えたときは、その損害発生の翌日から起算して6月以内に当該旅行業者に対して通知があったときに限り、その損害を賠償する責任を負う。
- イ. 旅行業者は、契約において、法令に反せず、かつ、旅行者に不利にならない範囲で書面により特約を結ぶことができる。
- ウ. 旅行業者が相談料金を収受することを約して、旅行者からの委託により、旅行に必要な運送又は宿泊のサービスの確保を旅行者に保証することは、旅行相談契約の業務の一つとして規定されている。
- エ. 旅行者は、旅行業者が契約に基づく業務を行ったときは、旅行業者に対し、旅行業者が定める期日までに、旅行業者所定の相談料金を支払わなければならない。

2. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. バス会社は、バス会社の自動車の運行上の過失によって、旅客の生命又は身体を害したときは、その損害が車内において、又は旅客の乗降中に生じた場合に限り、これによって生じた損害を賠償する責に任じる。
- イ. バス会社に旅客の運送を申込み者が提出する運送申込書には、旅客の氏名の記載は不要である。
- ウ. バス会社は、地方運輸局長に届け出たところにより、特別な設備を施した車両を使用する場合には、運賃の割り増しをする。
- エ. バス会社が収受する運賃及び料金は、運送契約の成立時において地方運輸局長に届け出て実施しているものによる。

3. 海上運送法第9条第3項の規定に基づく標準運送約款（フェリーを含む一般旅客定期航路事業に関する標準運送約款）に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 大人1人に同伴されて乗船する1歳以上の小学校に修学していない小児の運賃及び料金は、2人まで無料である。
- イ. 旅客が乗船券を紛失したときは、フェリー会社は、改めて運賃及び料金を申し受け、これと引き換えに乗船券を発行するとともに、その旨の証明書を発行する。この場合において、当該旅客が紛失した乗船券を発見したときは、その通用期間の経過後1年以内に限り、当該証明書を添えて、フェリー会社に運賃及び料金の払戻しを請求することができる。
- ウ. フェリー会社は、旅客が乗船後に乗越しの申し出をした場合には、当該フェリーの輸送力に余裕がある場合に限り、その変更に応じる。この場合において、変更後の乗船区間に対応する運賃及び料金の額と既に収受した運賃及び料金の額との差額を申し受ける。
- エ. フェリー会社は、旅客が指定便に係る乗船券について当該指定便の発航後に乗船船便の変更を申し出た場合には、当該乗船券の券面記載の乗船日に発航する他の船便の輸送力に余裕がある場合に限り、当該乗船券による2等船室への乗船変更の取扱いに応じる。

4. 国内旅客運送約款（日本航空・全日本空輸）に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 旅客運賃又は料金の払戻しは、当該航空券又は航空引換証と交換にその有効期間満了後の翌日から起算して14日以内に限り行う。
- イ. 手荷物の到着後7日間を経過しても引き取りがない場合には、航空会社は、当該手荷物を適宜処分することがあり、この場合における損害及び費用はすべて旅客の負担となる。
- ウ. 旅客が病気その他の事由で旅行不可能となった場合、又は航空会社が予約した座席を提供できない場合若しくは座席を予約できない場合は、会社は、航空券又は航空引換証の有効期間を延長することができる。ただし、当初の航空券又は航空引換証の有効期間満了日より30日を超えて延長することはできない。
- エ. 旅客が紙片の航空券を紛失した場合は、旅客は、搭乗に際して、あらためて当該紛失航空券に係る搭乗区間の航空券の購入を必要とするが、紛失した旨の届出が払戻期間満了の日までに航空会社の事業所になされ、かつ、払戻有効期間満了の日までに当該紛失航空券の提示がなされたときは、会社の定めにより、旅客は、払い戻しを受けることができる。

5. 旅客鉄道会社（JR）の旅客営業規則に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 急行券を所持する旅客は、急行列車の遅延により、着駅到着時刻に2時間以上遅延して到着したときは、急行料金の全額の払いもどしを請求することができる。
- イ. 幹線と地方交通線にまたがる片道乗車券において、乗車区間の営業キロが593.3キロメートル、運賃計算キロが615.9キロメートルの場合、乗車券の有効期間は4日間である。
- ウ. 団体の無賃扱人員に対しては、旅客運賃については無料の取扱いが適用され、寝台料金、座席指定料金には適用されない。
- エ. 訪日観光団体及び普通団体に対しては、団体旅客が31人以上（訪日観光団体にあつては、15人以上）50人までのときはうち1人、51人以上のときは50人までごとに1人を加えた人員を無賃扱人員として旅客運賃を収受しない。

6. モデル宿泊約款に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 宿泊客が、宿泊中に当初の申込み時の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、ホテル（旅館）は、その申し出がなされた時点で当初の宿泊契約が継続されたものとして処理する。
- イ. ホテル（旅館）は、宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良な風俗に反する行為をするおそれがあると認められるときは、宿泊契約を解除することがある。
- ウ. 宿泊客は、宿泊料金等の支払いをクレジットカードにより行おうとするときは、あらかじめ、宿泊日当日、ホテル（旅館）のフロントにおける登録時に当該クレジットカードを呈示しなければならない。
- エ. ホテル（旅館）は、宿泊契約の履行に当たり、又は不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償する。ただし、それがホテル（旅館）の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではない。

3 国内旅行実務

1. 以下の各設問について、該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。

(1) 沖縄本島最南端に位置し、沖縄戦跡国定公園内に「ひめゆりの塔」など多くの慰霊塔が建つ都市は次のどれか。

- ア. 糸満市 イ. 名護市 ウ. 南城市 エ. 宜野湾市

(2) 雲海に浮かぶさまから「天空の城」「日本のマチュピチュ」とも呼ばれ、山頂に築かれた山城の石垣が有名な兵庫県朝来市にある城跡は次のどれか。

- ア. 松前城跡 イ. 伊賀上野城跡 ウ. 竹田城跡 エ. 坂本城跡

(3) 透明度の高い海に美しいサンゴ礁が広がり、ザトウクジラの繁殖海域でもあることから、2014年3月5日にわが国で31番目の国立公園に指定されたものは次のどれか。

- ア. 慶良間諸島 イ. 大隅諸島 ウ. 大東諸島 エ. 八重山諸島

(4) 榛名山の山麓に湧く温泉で、365段の石段の両側に旅館、おみやげ物屋などが軒を連ね、徳富蘆花記念文学館がある温泉地は次のどれか。

- ア. 四万温泉 イ. 老神温泉 ウ. 川治温泉 エ. 伊香保温泉

(5) 石川県に位置する景勝地で、松本清張の小説「ゼロの焦点」の舞台ともなり、巖門、関野鼻、ヤセの断崖などの観光地がある海岸は次のどれか。

- ア. 東尋坊 イ. 能登金剛 ウ. 笹川流れ エ. 種差海岸

(6) 奈良県宇陀市にある真言宗の寺院で、境内はシャクナゲの名所として知られ、女性の参詣が許されていたことから「女人高野」とも呼ばれる寺院は次のどれか。

- ア. 室生寺 イ. 西大寺 ウ. 元興寺 エ. 長谷寺

(7) 奈良時代から平安時代にかけて独自の仏教文化が栄え、富貴寺や熊野磨崖仏などの見どころがあり、南側を別府湾、東側を伊予灘、瀬戸内海、北側を周防灘に囲まれた半島は次のどれか。

- ア. 島原半島 イ. 薩摩半島 ウ. 紀伊半島 エ. 国東半島

(8) 江戸時代は立花氏の城下町として発達し、ドンコ船による川下りや歌人北原白秋の故郷としても有名な都市は次のどれか。

- ア. 平戸市 イ. 小城市 ウ. 柳川市 エ. 唐津市

(9) 南北の長さ(延長)は約220km、北部は「海のアλπス」とも賞される豪壮な大断崖、南部は入り組んだ地形のリアス海岸が続き、小袖海岸、北山崎、燕島などの景勝地を持つ国立公園は次のどれか。

- ア. 山陰海岸国立公園 イ. 三陸復興国立公園
ウ. 西海国立公園 エ. 伊勢志摩国立公園

2. 以下の各設問の行程について、前後に最も近い観光地を、選択肢の中からそれぞれ1つ選んで を埋め、モデルコースを完成させなさい。

(1) 旭川空港 — — 富良野 — トマム山 — 新千歳空港

- ア. 雄阿寒岳 イ. 羅臼岳 ウ. 昭和新山 エ. 大雪山

(2) 出雲空港 — 石見銀山遺跡 — 温泉津温泉 — — 萩・石見空港

- ア. 津和野 イ. 伊根の舟屋 ウ. 郡上八幡 エ. 鞆の浦

(3) 仙台駅 — 作並温泉 — — 出羽三山 — 庄内空港

- ア. 恐山 イ. 金華山 ウ. 中尊寺 エ. 立石寺

(4) 高松空港 — 金刀比羅宮 — — 面河溪 — 松山空港

- ア. 足摺岬 イ. 石鎚山 ウ. 三瓶山 エ. 佐田岬

(5) 岡山駅 — 後樂園 — 鷲羽山 — — 岡山駅

- ア. 大洲 イ. 竹原 ウ. 倉敷 エ. 赤穂

(6) 熊本駅 — — 阿蘇山・草千里 — 菊池溪谷 — 山鹿温泉(宿泊)

- ア. 南方熊楠記念館 イ. 夏目漱石内坪井旧居
ウ. 森鷗外旧居 エ. 子規記念博物館

(7) 両津港 — 白雲台 — 佐渡金山遺跡 — — 両津港

ア. 宮津湾 イ. 小浜湾 ウ. 七尾湾 エ. 尖閣湾

(8) 水戸駅 — 偕楽園 — 高萩 — — 水戸駅

ア. 秋保大滝 イ. 浄蓮の滝 ウ. 袋田の滝 エ. 華厳滝

(9) 京都駅 — 嵐山 — — 金閣寺 — 京都駅

ア. 龍安寺 イ. 那谷寺 ウ. 金剛峯寺 エ. 円覚寺

3. 以下の各設問の組合せについて、該当する答を、選択肢の中からそれぞれ1つ選びなさい。

(1) 次の国立公園の区域内にある山岳観光資源及び温泉地の組合せのうち、誤っているものはどれか。

〈国立公園〉		〈山岳観光資源〉		〈温泉地〉
ア. 阿寒国立公園	—	雌阿寒岳	—	川湯温泉
イ. 霧島錦江湾国立公園	—	開聞岳	—	指宿温泉
ウ. 磐梯朝日国立公園	—	月山	—	磐梯熱海温泉
エ. 日光国立公園	—	男体山	—	湯西川温泉

(2) 次の温泉地のうち、その所在地がすべて同じ都道府県内にある組合せはどれか。

ア. あつみ温泉 — 蔵王温泉 — 銀山温泉
イ. 飯坂温泉 — 遠刈田温泉 — 芦ノ牧温泉
ウ. 内牧温泉 — 黒川温泉 — 日田温泉
エ. 下呂温泉 — 白骨温泉 — 新穂高温泉

(3) 次の代表的郷土・名物料理と都道府県の組合せのうち、誤っているものはどれか。

〈郷土・名物料理〉		〈都道府県〉
ア. 三平汁	—	北海道
イ. わっぱめし	—	福島県
ウ. めはりずし	—	岡山県
エ. からし蓮根	—	熊本県

(4) 次の祭り・行事と催される都道府県及び開催月の組合せのうち、誤っているものはどれか。

〈祭り・行事〉		〈都道府県〉		〈開催月〉
ア. 祇園祭	——	京都府	——	7月
イ. 吉田の火祭り	——	山梨県	——	10月
ウ. 唐津くんち	——	佐賀県	——	11月
エ. 秩父夜祭	——	埼玉県	——	12月

(5) 世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）に関して、その所在地との組合せのうち、正しいもののみをすべて選んでいるものはどれか。

	〈世界遺産〉		〈所在地〉
a.	古都京都の文化財（文化遺産）	——	京都府・滋賀県
b.	白川郷・五箇山の合掌造り集落（文化遺産）	——	富山県・長野県
c.	屋久島（自然遺産）	——	沖縄県
d.	小笠原諸島（自然遺産）	——	東京都

ア. a, b イ. a, d ウ. b, c エ. a, c, d

(6) 次の代表的工芸品・民芸品と都道府県の組合せのうち、誤っているものはどれか。

〈工芸品・民芸品〉		〈都道府県〉
ア. 樺細工	——	秋田県
イ. 紅型	——	沖縄県
ウ. 丸亀うちわ	——	香川県
エ. 九谷焼	——	福井県

4. 宿泊に関する以下の各設問について、それぞれ選択肢の中から答を1つ選びなさい。

(注)「モデル宿泊約款」によるものとする。

(1) ホテルに2連泊の宿泊契約をしていた大人1人の宿泊客が、当該宿泊客の都合により1泊目の当日、チェックインする前に宿泊契約の全部を解除した。当該宿泊客が支払うこととなる違約金の額について、資料に基づき、正しいものを選びなさい。

〈資料〉

- ・ 基本宿泊料は、1人1泊あたり10,000円とする。
- ・ このホテルの基本宿泊料に対する違約金の比率は、契約解除の通知を受けた日が、当日の場合は基本宿泊料の50%、前日の場合は基本宿泊料の20%とする。
- ・ 当該宿泊客は、このホテルが定める申込金を、このホテルが指定する日までに支払っている。

- ア. 1泊目の違約金として5,000円、2泊目の違約金として2,000円の合計7,000円。
イ. 1泊目の違約金として5,000円、2泊目の違約金は不要である。
ウ. 1泊目の違約金は不要、2泊目の違約金として2,000円。
エ. 1泊目、2泊目とも違約金は不要である。

- (2) ホテルに3泊の宿泊契約をしていた大人1人の宿泊客が、1泊したのち当該宿泊客の都合により残り2泊の宿泊契約を解除した。当該宿泊客が支払うこととなる違約金の額について、資料に基づき、正しいものを選びなさい。

〈資料〉

- ・ 基本宿泊料は、1人1泊あたり10,000円とする。
 - ・ このホテルの基本宿泊料に対する違約金の比率は、契約解除の通知を受けた日が、当日の場合は基本宿泊料の50%、前日の場合は基本宿泊料の20%とする。
- ア. 2泊目の違約金として5,000円、3泊目の違約金として2,000円の合計7,000円。
イ. 2泊目の違約金として5,000円、3泊目の違約金は不要である。
ウ. 2泊目の違約金は不要、3泊目の違約金として2,000円。
エ. 2泊目、3泊目とも違約金は不要である。

5. フェリーによる運送に関する次の設問について、該当する答を、選択肢の中から1つ選びなさい。

(注)「海上運送法第9条第3項の規定に基づく標準運送約款(フェリーを含む一般旅客定期航路事業に関する標準運送約款)」によるものとする。また、年齢は乗船日現在とする。

大人2人(自動車の運転者1人を含む。)、小学生1人、1歳の小児1人が、自動車1台でフェリーの指定制寝台を利用する場合に必要な運賃・料金の組合せのうち、正しいものはどれか。なお、全員が指定制寝台を1人で利用するものとする。

- ア. 大人2人分、小児1人分、自動車1台分
イ. 大人2人分、小児2人分、自動車1台分
ウ. 大人1人分、小児1人分、自動車1台分、大人1人分の2等運賃の額との差額運賃・料金
エ. 大人1人分、小児2人分、自動車1台分、大人1人分の2等運賃の額との差額運賃・料金

6. 航空による運送に関する以下の各設問について、それぞれ選択肢の中から答を1つ選びなさい。

- (1) 国内航空2社(日本航空・全日本空輸)による国内航空運送に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ア. 航空会社は、1旅客に対して2つ以上の予約がされており、かつ、旅客が予約のすべてに搭乗すると合理的に考えられないと会社が判断した場合、当該旅客の予約の全部又は一部を取り消すことができる。
イ. 8月31日搭乗予定の座席予約の申込みは、航空会社が特定の旅客運賃を支払う旅客につき別段の定めをした場合を除き、6月30日より行われる。
ウ. 大人普通運賃(日本航空)を適用して、7月5日の午前11時に出発する航空機を、7月4日に予約した場合、当該航空機の航空券購入期限は7月5日の午前10時までとなる。
エ. 大人1人が、小児1人(3歳)・幼児2人(2歳と1歳)の3人を同伴する場合に必要な運賃は、「大人1人分・小児2人分」または「大人1人分・小児3人分」のいずれかである。

(2) 全日本空輸による次の航空券（eチケットお客様控）に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

<航空券>（eチケットお客様控）

ANA eチケットお客様控 ANA TICKET ISSUANCE NOTICE	
	合計運賃額 ¥26,000 FARE/CHARGE (TAXINCL)
ゼンリョ ハナコ 様	確認番号 000 111 222 RECEPTION NO.
1. 5月19日 ANA 740便 19:00発 仙台 ⇨ 大阪 / 伊丹 SENDAI-OSAKA / ITAMI 特割 C	予約番号 666 RESERVATION NO.
	見本
DATE OF APPLICABLE FARE : 01APR14	航空券有効期限 1. 2014年 5月19日
	発行所 () 発行日 2014年04月01日 PNR : TKT :

- ア. 旅客の都合により4月2日に予約を取り消し、払い戻しをする場合、払戻手数料のみかかり、取消手数料は不要である。
- イ. 搭乗当日、仙台空港において搭乗便より前の便に空席がある場合であっても、搭乗便を変更することはできない。
- ウ. 旅客の都合により搭乗便に乗り遅れた場合、搭乗当日、仙台空港において搭乗便出発時刻以降に予約の取り消しを行っても、当該航空券は無効のため運賃の払い戻しを受けることができない。
- エ. プレミアムクラスへの変更であれば、搭乗当日、仙台空港において搭乗便より前の便のプレミアムクラスに空席があれば、有料で搭乗便を変更することができる。

7. 貸切バスによる運送に関する以下の各設問について、それぞれ選択肢の中から答を1つ選びなさい。

(1) 貸切バスによる運送に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
(注) 「一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款」「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について（平成26年3月26日付 関東運輸局長公示）」によるものとする。

- ア. フェリーでの自動車航送を伴う旅行日程の場合、フェリー会社に支払う自動車航送運賃は、契約責任者の負担とすることができる。
- イ. A社の貸切バスが所定配車場所で旅客の乗車後、当該貸切バスに故障が生じ運行を中止した。A社は、A社の負担においてB社に運送の継続を依頼し、それを旅客が利用したときは、A社は運賃及び料金の払戻しを行わないとすることができる。
- ウ. 法令により交替運転者の配置が義務付けられる場合には、バス会社は交替運転者配置料金の上限額及び下限額の範囲内で計算した額の交替運転者配置料金を取受することができる。
- エ. 「配車日が9月1日、1台7万円で契約した貸切バス1台」の運送契約を、契約責任者の都合で8月21日に解除した場合、バス会社は契約責任者に対し違約料を請求することができない。

(2) 次の行程（日帰り）を大型バスで運行するとき、1台あたりの貸切バスの運賃の合計額について、資料に基づき、正しいものを選びなさい。

(注1) 「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について（平成26年3月26日付 関東運輸局長公示）」によるものとする。

(注2) 運賃は、時間・キロ併用制運賃とする。

(注3) 運賃の割引、消費税の計算は行わない。

(注4) 資料の運賃は、一般貸切旅客自動車運送事業の変更命令の審査を必要としない運賃とする。

〈行程〉（日帰り）



〈資料〉

大型バス 時間制運賃（1時間あたり）7,000円

大型バス キロ制運賃（1kmあたり） 150円

- ア. 時間制運賃 8時間×7,000円、キロ制運賃 200km×150円 運賃合計 86,000円
- イ. 時間制運賃 7時間×7,000円、キロ制運賃 200km×150円 運賃合計 79,000円
- ウ. 時間制運賃 8時間×7,000円、キロ制運賃 160km×150円 運賃合計 80,000円
- エ. 時間制運賃 7時間×7,000円、キロ制運賃 160km×150円 運賃合計 73,000円

8. 旅客鉄道会社（JR）に関する以下の各設問について、それぞれ選択肢の中から答を1つ選びなさい。

(1) 旅客営業規則に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ア. 自由席特急券の有効期間は、有効期間の開始日とその翌日の2日である。
- イ. 新幹線の普通車指定席特急券を所持する旅客が、当該旅客の都合により指定列車に乗り遅れて旅行を中止した場合、当該普通車指定席特急券に記載の乗車日と同じ日に限り、所定の払いもどし手数料を差し引いて指定席特急料金が払いもどしされる。
- ウ. 大人1人が、幼児2人（4才と5才）を随伴し、3つの席を使用して特急列車のグリーン車を利用する場合、「乗車券は大人1枚、指定席特急券は大人1枚と小児2枚、グリーン券は3枚」必要である。
- エ. 乗車券の券面に「 東京都区内」と表示されている場合は、特定都区市内にある駅と、特定都区市内の中心駅から片道の営業キロが200キロメートルを超える区間内にある駅との相互間の片道普通旅客運賃は、当該中心駅を起点又は終点とした営業キロ又は運賃計算キロによって計算する。

(2) 乗継割引に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

(注) いずれも最初の列車の乗車日当日に乗り継ぐものとし、途中下車はしないものとする。

ア. 「とき」に乗継割引が適用される。

京都駅  東京駅  新潟駅
新幹線「のぞみ」 新幹線「とき」

イ. 乗継割引が適用される列車はない。

新神戸駅  新鳥栖駅  ハウステンボス駅
新幹線「さくら」 特急「ハウステンボス」

ウ. 「はまなす」の急行料金のみ乗継割引が適用される。

大宮駅  新青森駅  青森駅  札幌駅
新幹線「はやぶさ」 「普通列車」 急行「はまなす(指定席)」

エ. 「マリンライナー」の指定席料金に乗継割引が適用される。

小倉駅  岡山駅  高松駅
新幹線「ひかり」 快速「マリンライナー(指定席)」

(3) 次のJR券の に記載される運賃の額について、資料に基づき、正しいものを選びなさい。

乗 車 券 (ゆ き) (幹)
 ■■■■

仙台市内 → 浜 松

経由：仙台・新幹線・東京・新幹線・浜松

5月1日から 10日間有効 ¥ * * *

券面表示の都区市内各駅下車前途無効

証明書

26. - 4. - 1 を携帯して下さい

乗 車 券 (か え り) (幹)
 ■■■■

浜 松 → 仙台市内

経由：浜松・新幹線・東京・新幹線・仙台

5月1日から 10日間有効 ¥

券面表示の都区市内各駅下車前途無効

証明書

26. - 4. - 1 を携帯して下さい

〈資料〉

- ・ この乗車経路による仙台駅から浜松駅までの片道の営業キロは608.9キロ
- ・ 本州3社内の幹線の普通運賃表

営業キロ (運賃計算キロ)	片道運賃 (基準額)
601～640キロ	9,610円

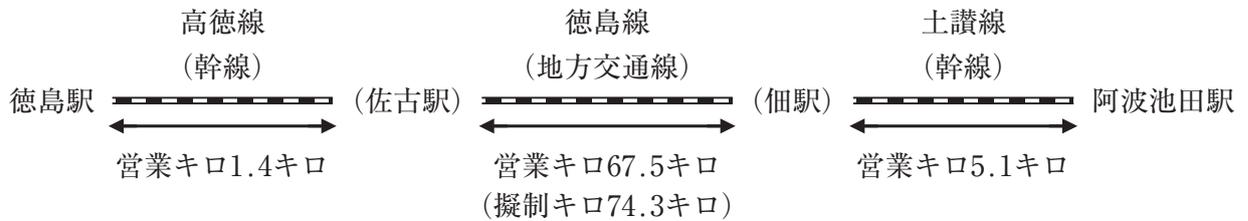
- ア. 12,280円
- イ. 13,820円
- ウ. 15,360円
- エ. 17,280円

(4) 次の行程で乗車する大人1人分の全行程の普通運賃の額について、資料に基づき、正しいものを選びなさい。

(注) 徳島駅～阿波池田駅間、阿波池田駅～高知駅間では、途中下車、列車の乗り換えはしないものとする。

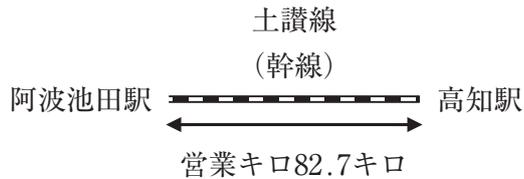
〈行程〉

6月1日 徳島駅から阿波池田駅まで普通列車に乗車
阿波池田にて宿泊



6月2日 阿波池田にて周辺観光、宿泊

6月3日 阿波池田駅から高知駅まで普通列車に乗車



〈資料〉

J R 四国内の普通運賃表

営業キロ (運賃計算キロまたは擬制キロ)	片道運賃
71～80キロ	1,460円
81～90キロ	1,640円
141～160キロ	2,750円
161～180キロ	3,180円

ア. 2,750円

イ. 3,180円

ウ. 1,640円+1,640円=3,280円

エ. 1,460円+1,640円=3,100円

- (5) 繁忙期に次の行程で旅行する大人1人の料金について、資料に基づき、正しいものを選びなさい。
 (注) 仙台駅では新幹線の改札口を出ないで、最初の列車の乗車日当日に乗り継ぐものとする。

〈行程〉



〈資料〉

東北新幹線〔はやて〕〔やまびこ〕〔なすの〕普通車指定席特急料金（通常期）

東京		
4,950円	仙台	
5,480円	2,360円	一ノ関

東北新幹線〔はやぶさ〕普通車指定席特急料金（通常期）

東京	
5,260円	仙台
5,890円	一ノ関

- ア. $5,480円 + (5,260円 - 4,950円) + 200円 = 5,990円$
- イ. $5,480円 + (5,260円 - 4,950円) - 520円 = 5,270円$
- ウ. $(5,260円 + 200円) + (2,360円 - 520円) = 7,300円$
- エ. $5,890円 + 200円 = 6,090円$

(6) 次のJR券を4月29日に払いもどした場合の払いもどし額について、正しいものはどれか。

乗車券・新幹線特急券・グリーン券 **
乗車券 3日間有効

新 潟 → 東 京 (都区内)

5月1日 (11:13発) (13:20着) COO
Maxとき322号2階 8号車24番A席 

¥14,160 内訳：乗5,620 ・特4,430 ・グ4,110

券面の都区市内各駅下車前途無効

26. - 4. - 1

- ア. 乗車券分 $5,620円 - 220円 = 5,400円$
特急券分 $4,430円 - 330円 = 4,100円$
グリーン券分 $4,110円 - 330円 = 3,780円$
払いもどし額 13,280円
- イ. 乗車券分 $5,620円 - 220円 = 5,400円$
特急券分 $4,430円 \times 30\% = 1,329円 \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 1,320円$
 $4,430円 - 1,320円 = 3,110円$
グリーン券分 $4,110円 \times 30\% = 1,233円 \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 1,230円$
 $4,110円 - 1,230円 = 2,880円$
払いもどし額 11,390円
- ウ. 乗車券分 $5,620円 - 220円 = 5,400円$
特急券分 払いもどし手数料は不要
グリーン券分 $4,110円 - 330円 = 3,780円$
払いもどし額 13,610円
- エ. 乗車券分 $5,620円 - 220円 = 5,400円$
特急券分 払いもどし手数料は不要
グリーン券分 $4,110円 \times 30\% = 1,233円 \rightarrow$ は数整理 $\rightarrow 1,230円$
 $4,110円 - 1,230円 = 2,880円$
払いもどし額 12,710円

〈以 上〉